



十西小だより

弥富市立十四山西部小学校
学校だより 第17号



令和元年7月8日

防災教室 ～「地震への備え」について学びました～



地震の前のできること

- 非常持ち出し品
7日分（最低でも3日分）を準備
- 家族で調べる
どこへ逃げるか、どこがあぶないか
- 家の耐震
屋根を軽く、すじかいで強く
- 家具の固定
特に寝室に注意

7月4日（木）に、愛知県建設局土木部の方を講師にお招きして、防災教室を行いました。テーマは「地震への備えについて学ぼう」です。

はじめに、東日本大震災や阪神淡路大震災を例に地震発生による被害の状況について動画や画像を使って教えていただきました。次に、地震の種類ごとの発生の仕組みから、地震は必ず起こるということ、特に私たちの地域に影響のある「南海トラフ地震」については今後30年以内に70～80%の確率で起こるということを教えていただきました。被害を最小限にするためには、「地震への備え」をすることと「逃げる」ことが大切だそうです。人は、何らかの異常事態が起きたときに「これは正常の範囲内だ」と思い込んで、心を平静に保とうとする特性があるそうです。これを「正常性バイアス」と呼び、この特性によって逃げ遅れ、過去の災害においても命を失ってしまった人がいるそうです。大切な命を守るために、油断せず、日頃から備えをしておきたいものです。

子どもたちの感想です

30年以内ということは、「私たちが20歳になって地震が起こるのもおかしくはないのかな？」と思うと、いろいろ備えをしたくなりました。私がまず備えたいのは「ご飯」「お水」です。災害があっても、備えがしてあれば、食べたり飲んだりできるからです。これから、これ以外にも集めていきたいと思いました。
〈4年女子〉

南海トラフ巨大地震は必ず30年以内には起きるので、これからも避難訓練をがんばりたい。家でも防災グッズを定期的に点検したい。家族のみんなと家のどこが危ないかチェックしたい。あと、避難場所などの確認をする。今日のことを振り返って、家族のみんなに伝え、いつ、どこで地震が起きても大丈夫なようにしておきたい。自分の命は自分でがんばって守りたいです。
〈5年男子〉

私が一番心に残ったのは、30年以内に地震が起きる確率は70～80%ということです。私は普段、津波や地震のことをよく考えることがなかったので、この防災教室で改めて深く考えました。初めて知ったことは、南海トラフ地震や阪神淡路大震災、東日本大震災は同じ種類の地震だと思っていたけれど、それぞれ違う型の地震ということです。南海トラフ地震、東日本大震災は海溝型地震で、阪神淡路大震災は直下型地震で、ほかにも火山型地震と3つもあったのでびっくりしました。また、5年生の社会で習った液状化もでてきたので、津波や地震の怖さが分かり、津波や地震に備えるということも大切だなと思いました。映像を見ただけでも、自分が巻き込まれたら怖いと感じました。
〈6年女子〉